

災害発生に備えて

災害等の危機が発生した際に、素早く対応できるよう「危機管理委員」および「対策本部」で役割を明確にし危機管理体制の強化を図っています。また、災害発生直後の危機対応だけでなく、災害時にどのようにして事業を継続していくかを考え、スーパーマーケットとして地域の食を支えています。



▲定期避難訓練



▲緊急時の備蓄管理



▲お客さまと従業員の安全・安心確保のための社内ルールを作成

自治体との協力協定の締結

フレスタホールディングスでは、広島県内の自治体（広島県・広島市・三原市）と協力協定を結んでいます。地域の活性化や市民の皆さまへのサービス向上をめざし、互いに連携・協力し、観光や農林水産業の振興、暮らしの安心・安全など、幅広い分野での取り組みを実施しています。



▲三原市と包括連携協力協定を締結



▲防災コーナーの設置やローリングストック法の推奨

災害時の事業継続のために

緑井本部、併設する精肉加工場・惣菜工場では、災害時にも対応可能な設備として「ガスコージェネレーションシステム」を導入しています。ガスで発電すると同時に、排熱を給湯や空調、蒸気などの形で有効に活用するためムダがなく、クリーンな都市ガスを利用するので環境性に優れているほか、省エネ性にも優れています。

災害時に電気の供給が止まってしまった際も、ガスを使って電気と熱を取りだし、本部機能の継続と工場の稼働を続けることができるため、地域の食を支えることができます。

ガスコージェネレーションシステム

